

表紙のことば (世界遺産シリーズ)



グアテマラ ティカル国立公園  
1979年ユネスコ世界複合遺産登録

ティカルは、グアテマラ北東部の密林で栄えたマヤ文明最古の都市である。水を通さない漆喰で町全体を塗り固め、雨季に降った雨水を集め、乾季に備える徹底した水の確保により、都市は大きな発展を遂げた。2500年前に繁栄を極め、6万人もの人々が暮らしていた都市は、10世紀に忽然と姿を消した。崩壊の理由は、漆喰の原料となる石灰岩を燃やすため、森を破壊したことによると言われている。巨大遺跡は、17世紀末、密林に迷った一人のスペイン人神父によって偶然に発見された。

CONTENTS

- 支部見聞録 From 京都 ..... 2  
◎ 秋季大会拡大版
- LS 研 総合発表会 2010 ..... 6
- ICT 基礎講座 Close-Up ..... 10  
ワークライフバランスの推進とテレワーク
- トップは語る ..... 14  
株式会社サカタのタネ  
代表取締役社長 坂田 宏 氏
- 講演録 ..... 16  
プロ野球で成功する選手の条件とは  
元西武ライオンズ監督 東尾 修 氏
- 豊かに生きる誌上セミナー  
HUMAN HUMAN ..... 18  
人生を豊かに変える! ポスチュアウォーキング①  
株式会社THE POSTURE 代表取締役  
KIMIKO 氏
- Family's Information ..... 19



## 平安京から現代の都市へ 京の都 いまむかし

碁盤の目のように走る街路に、建設当初の面影を残すといわれる京都のまち。京都に都(平安京)が築かれたのは、794年。以来1200年余、京都は都として、明治以降も西日本の核となる都市として、存在感を示してきた。歴史と伝統を誇る京都。このまちはどのように変遷を重ねて、今の京都となったのだろうか。

### 未曾有の計画都市・平安京

京都の繁華街の中心といえば、四条河原町界隈。南北に走る河原町通に並行して西に2本目、寺町通というにぎやかなアーケード街がある。この道は、平安京の昔には東の果ての通り、東京極大路だった。実は、もともとの平安京は、現在の京都の中心よりもずっと西に偏っていたのだ。

では、794年に都が移された当初の平安京とはどのようなものだったのだろうか。平安京は京都盆地にゼロからいきなり築かれた完全な計画都市。この地が都に選ばれたのは、中国渡来の風水思想という理想的な四神相応の地形\*だったからだと伝えら

れる。具体的には 東は鴨川、西に山陰道、南に巨椋池(おぐらいけ)(現在は埋め立てられている)、北は船岡山(他に諸説がある)に護られている地というわけだ。

平安京の規模は、東西約4.5km、南北約5.2km。大雑把にどんなものだったかは図の通りだが、京都の歴史と文化について総合的に展示を行っている京都文化博物館の植山茂さんによれば、朱雀大路の幅はなんと84m、その他の大路も24m、大路の間に縦横3本ずつ走っていた小路でも12mあったというから驚かされる。

「当時の道は今もほぼ残っています。幅はすっかり痩せてしまっていますが、一条、二条といった通りはもちろん、押小路、高倉、堀川…、平安京時代の名称がそのまま使われている道もたくさんありますよ」。

これらの道で囲まれた1辺120mの正方形の区画が「町」。いくつか門を設けた塀が町の四方をぐるりと取り囲み、家屋はその中に建てられた。

しかし、こうした平安京の基本形は次第に変化していく。湿地が多い西の右京よりも便利な左京に家が集中し、右京は次第にさびれて農地化していった。一方で、平安時代の後期になると白河や鳥羽など平安京外に別荘や離宮が造られるようになった。また「町」の囲いの塀は次第に撤去され道に面して家々が建てられ、商いなどが行われるようになっていく。通りは商売の



1200年以上の歴史を背負う京の町並み

\*四神相応の地形：四方を司る神の居所に最もふさわしい地形のこと。東を司る神は青龍で地形は川。以下、西は白虎で大道、南は朱雀で湖や海、北は玄武で山や丘だとされている



平安京の南辺中央にあった羅城門の復元模型（京都文化博物館）。大内裏から羅城門まで朱雀大路（幅 84m）が都を左京右京に分けて貫いていた

場や生活の場となり、町は閉じたものから外へ開かれた存在へと変わっていった。

### 時代とともに変わりゆくまち

長く続いた平安時代も1185年の平家滅亡とともに終わりを迎える。京都は貴族が主導権を握る政治の中心都市だったが、武士の世になって政治はひとまず鎌倉へ。この時代に特筆すべきなのは京都のまち中にも寺院が多く造られたことだ。実は初期の平安京内には東寺・西寺、二つの官立の寺しかなかった。平安時代中頃から京中にも寺が造られ始めたが、鎌倉時代には新仏教と呼ばれる禅宗、時宗、日蓮宗などの宗派が次々に寺院を建立していった。室町幕府が置かれて京都が武家社会になると武家が特に崇敬・保護した禅宗各派の本山が京都に創設される。手工業も発達して今に残る伝統産業が確立し、同時に商売も盛んになって京都は日本一の商都として栄え、商工業に携わる町衆の力も大きくなっていった。

1467（応仁元）年に始まる応仁の乱から戦国時代の混乱を経て、時代は安土桃山時代へ。平安京を再度大規模に開発したが、豊臣秀吉だ。現在はほとんど残っていないが、秀吉は軍事防衛や洪水対策などのために、「お土居」と呼ばれる土塁で京の周りを囲った。御所の周りには公家の屋敷を集め、またかつて平安京の内裏があった場

所には1587（天正15）年に政庁と居城を兼ねた、壮麗な聚楽第を建てて、周囲に武家屋敷を配置。また、京に散在していた寺院を特定の通りの片側に集めた。これが冒頭に紹介した寺町や寺ノ内なのだ。さらに正方形の「町」の真ん中に南北方向に通りを新設。これまで通り沿いに家が並んで町の中央部は空き地化していたが、この再開発で町は約60m×120mの短冊形になり、土地の有効利用が図られた。これを天正の地割りという。

「短冊型の町割りとは近世の町割りの特長で、京都の天正の地割りがもとになったのでしょうか」と植山さんは語る。

### 京の魅力の根源にあるもの

聚楽第はすぐ取り壊されたが、江戸時代になると京都の守護と将軍上洛の宿泊所として今度は徳川氏の二条城が造られた。幕府は江戸に置かれて京都は政治の中心ではなくなったが商都として繁栄をきわめ、観光都市としても全国から人を集めるようになる。各藩の藩邸も置かれたので京都は天皇を頂点とする公家、武家、僧侶や神職、さまざまな仕事に携わる町人と多様な人々で構成される都市となった。こうした人々の交流の中から生まれた文化の厚みも、京都ならではのといえるだろう。

江戸時代、東海道の西の終点は三

京都文化博物館別館の建物は旧日本銀行京都支店（重要文化財）



道に面して建つ庶民の家（想定復元模型、京都文化博物館）



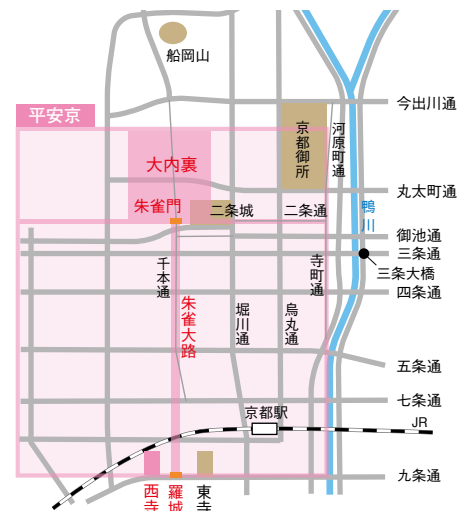
江戸期の象徴的建築物である二条城



京都文化博物館  
学芸員 植山 茂氏



東海道の終点、三条大橋



※赤字は現存しない平安京の施設

条大橋。旅人がそのまま流れ込む三条通は宿屋や商家が建ち並び、明治に入るといはやく煉瓦造りの近代洋風建築が建てられた。このため拡幅が難しく、後にメインストリートの座を四条通に明け渡すことになったというからちょっと皮肉な話だ。鉄





新しい京都のシンボル、京都駅ビル

道は1877(明治10)年に開通、その後駅と御所を結ぶ烏丸通が現在のように拡幅された。その駅も何度も造り替えられ、1997(平成9)年には近未来的な駅ビルが造られ、い

取材協力: 京都文化博物館

まや新しい京都の顔、シンボルとなっている。

駆け足で京都というまちの移り変わりを見てきたが、最後に植山さんはこう締めくくった。

「時代が変わるからといって、すべて旧いものが否定されるわけでも、新しいものに切り替わるわけでもありません。旧いものの上に新しいものが次々と加わっていき、旧いものも変化しながら残り、しかし伝統は受け継がれていく…。これは京都に限らず日本文化そのもののあり方

ですが、それが端的に見られるのが京都の面白さ。聚楽第や平安京そのものがそうだったように、京都は常に最新の建築が造られ、新しいものが導入されるまち。『何でも有り』が京都の魅力です」

となれば、建設当初「京都に似合わない」などともいわれた京都駅の近未来的な駅ビルは、実はもっとも京都的なものといえるかもしれない。そんな視点をもって京都を歩けば、新しい発見もさまざま。京都はきっとこれまでに知らなかった魅力を、垣間見せてくれることだろう。

別冊 FROMはウェブサイトへ

eふあみり もあわせてご覧ください!

eふあみり

<http://jp.fujitsu.com/family/honbu/family/>

## FUJITSU ファミリー会 2010 年度 秋季大会のお知らせ

● 開催日: 2010年10月28日(木) ~ 29日(金)

● 開催場所: ホテルグランヴィア京都(京都市)

● 内容: 講演/セッション/懇親会/交流行事(見学会、ゴルフ)



会場/ホテルグランヴィア京都

### 10月28日(木)

■ 開会 (13:30~14:00)

■ 特別講演 (14:00~15:00)

「京都花街の経営学」

京都女子大学 准教授 西尾 久美子 氏

■ 記念講演 (15:10~16:30)

「サッカー日本代表にみる 組織とリーダーシップ」

元・サッカー日本代表 京都文教大学 客員教授 釜本 邦茂 氏

セッション1

「共に生きる知恵」公益財団法人サントリー文化財団 上席研究フェロー 佐藤 友美子 氏

セッション2

「プロジェクトマネージャーの実践力の育成方法 - 企業や現場が求める真のPM-」  
~ LS 研究委員会 2009 年度研究分科会 最優秀賞 ~

セッション3

「お客様起点での営業人材育成とプロセス改革 - 富士通の営業改革実践事例 -」  
富士通株式会社

■ セッション (16:45~17:45)  
3会場同時進行

■ 懇親会 (18:00~19:30)

### 特別講演

京都女子大学 准教授

西尾 久美子 氏



にしおくみこ 京都市左京区で数代続いた米穀商の家に生まれる。京都府立大学女子短期大学部卒業後、大阪ガス(株) サービス推進チーム勤務を経て、1997年滋賀大学経済学部社会システム学科へ社会人入学。2001年神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程に入学し、金井壽宏研究室に所属。2006年同大学博士課程後期課程修了(博士号(経営学)を取得)。同年神戸大学大学院経営学研究科助手、COE研究員。2008年京都女子大学現代社会学部准教授。著書に「京都花街の経営学」(東洋経済新報社)。

### 記念講演

元サッカー日本代表  
京都文教大学 客員教授

釜本 邦茂 氏



かまもと・くにしげ 1944年生まれ、京都市出身。早稲田大学1年で東京オリンピックに出場。卒業後、ヤンマーディーゼルに入社。日本リーグ及び日本代表チームで数々の大記録を残した。現役引退後、ヤンマーディーゼル、ガンバ大阪で監督を歴任。1998年から2008年7月まで(財)日本サッカー協会の副会長を務めた。その間、2005年には第1回サッカー殿堂に最年少で選出された。2006年には、京都文教大学の客員教授に就任。現役引退後から今日まで全国各地で1,000回を超えるサッカー教室を開催し、のべ500,000人を超える子供たちを指導している。

### 10月29日(金)

● 見学会Aコース「京の町家体験と新撰組・坂本龍馬ゆかりの地を訪ねて」

見学先▶ 伏見稲荷、寺田屋、富田屋、壬生寺・八木邸、北野天満宮

● 見学会Bコース「源氏物語の舞台で京の侘び寂びを求めて」

見学先▶ 平等院・宇治上神社、黄檗山萬福寺、一休寺、松花堂庭園

● 見学会Cコース「平城遷都1300年祭と唐招提寺・薬師寺」

見学先▶ 唐招提寺、薬師寺、平城宮跡

● ゴルフコース 城陽カントリー倶楽部



## 古都のみどころ

### ●壬生



根強い歴史ブームもあり、京都では今も幕末の歴史の舞台となった場所が人気を集めている。新撰組の屯所となった壬生もその一つだ。屯所は土地の名家だった八木家を中心に前川家、南部家の3カ所に定められ、壬生寺の境内を隊士たちは兵法訓練所として使ったという。また、ここで沖田総司が子どもたちを集めてよく遊んでいたとか、近藤勇をはじめ隊士たちが壬生狂言を観賞したとか、新撰組が企画して境内で相撲興行が行われた…、など興味深いエピソードが残されている。

屯所は後に西本願寺に移され、壬生に新撰組がいたのは2年にすぎないが、隊士たちはその後もよく壬生に顔を出したらしい。境内には隊士や遺族が碑を建てた壬生塚があり、新撰組と壬生との縁の深さを物語っている。

### ●平等院

平安時代の建物のうち、平安京にあったものは残っていないが、京都近郊にはいくつか現存しており、すべて国宝に指

定されている。その中でも最も華麗な存在が平等院で、世界遺産に登録されている。平等院は、もともと11世紀初頭に摂政として栄華を誇った藤原道長の別業（別荘）で、宇治川が巨椋池おぐらいけに流れ込む風光明媚な場所にあった。夏の京都はうだるように暑く、都の南の巨椋池（現在は埋め立てられている）周辺は、当時離宮や別業が建つ避暑地だったのである。

1052（永承7年）にこれを仏寺に改めたのは道長の子、頼通。翌年建立した阿弥陀堂（鳳凰堂）には、平安時代の最高の仏師である定朝によって作られた阿弥陀如来坐像が安置されている。1336（建武3）年、楠木正成と足利勢の戦闘で寺は炎上するが、阿弥陀堂と観音堂だけが奇跡的に残った。阿弥陀堂は阿字池を前に本堂から左右に続く回廊と楼が美しく、翼を広げる鳥に見立てて鳳凰堂と呼ばれている。水に姿を映し、浄土曼荼羅をこの世に再現したと称えられる美しさに、1000年前の王朝文化の華やかさをうかがうことができる。



### ●平城京



京都の平安京に対して、それ以前の都だった奈良の都が平城京だ。平城京が都となったのは710年。遷都1300年にあたる2010年、「平城宮跡」をメイン会場としてさまざまな展示や催しが行われ、奈良一円の寺社でも特別公開などが実施されている。

特に主要舞台となる平城宮跡では、発掘調査や研究の成果を踏まえて再現された「第一次大極殿」と「朱雀門」が、堂々たる威容を見せる。かつての平城京は東西4.3km、南北4.7kmの碁盤の目に街路が走る都市で、南縁の中央にある都の入り口、羅城門を入ると、メインストリートの朱雀大路があり、その突き当たりには平城宮があった。そして平城宮の入り口が朱雀門、その奥にある大極殿は天皇の即位式や外国使節との接見など国の最も重要な儀式のために使われたもので、幅44m、高さ27m。1300年のいにしへの都のスケールを今に伝えて、圧巻だ。他に復原した遣唐船や発掘調査の展示、疑似発掘体験・奈良の衣装をまとうなりきり体験など多彩な企画が行われる。

### ●舞妓さんがお出迎え 懇親会のごあんない

#### 「宇治川太鼓」&舞妓さんも 登場して盛り上げます！

セッションの後の懇親会は、舞妓さんがお出迎えいたします。恒例のアトラクションは、宇治川太鼓を披露。これは平等院やお茶で有名な宇治川の流れて歴史を太鼓で表現したもので、急流や渦巻き、蛍が飛び交う様子などが高度

な技法で表されます。打ち手は宇治川太鼓を郷土の太鼓として保存し、伝え広めていこうとの想いから結成された地元の和太鼓サークル「雅」。迫力ある演奏をご堪能ください。また、太鼓の他に舞妓さんによる京舞（京舞の中でも代表的な井上流の舞）もご覧いただけます。どうぞお楽しみに！



「宇治川太鼓」を郷土の太鼓として広め、伝え、保存していこうとの想いから結成されたサークル「雅」